

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時): 教養学部・3年

参加プログラム: 全学交換留学

派遣先大学: チリ・カトリック大学

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体

5.民間企業(業界: ) 6.起業  7.その他(悩み中 )

### 派遣先大学の概要

中南米では有名な私立大学。キャンパスはサンティアゴ市内に4つある。3月～6月が1学期、8月～11月が2学期となっている。

### 留学した動機

専攻が中南米地域なので、実際に現地に赴いて生活をしてみたいかった。普段の生活や会話の中から教科書では学べないようなことや何かヒントになるものを得られるだろうと思った。半年ではなく1年の留学を選んだのは、語学力の向上のためにはより留学期間の長い方が良いだろうと思ったのに加えて、なんとなく1年くらい日本の生活から離れてみてもいいだろうという気持ちがあったから。

### 留学の時期など

①留学前の本学での修学状況: 西暦[2014]年 学部/修士/博士[3]年の[夏]学期まで履修

②留学中の学籍: 休学/留学/研究指導の委託

③留学期間: 2014年 7月～2014年 6月 学部/修士/博士[3]年時に出発

④留学後の授業履修: 西暦[2015]年 学部/修士/博士[4]年の[冬]学期から履修開始

⑤就職活動の時期: 西暦[2017]年 学部/修士/博士[5]年の[4]月頃に(行った/行う予定)

⑥本学での単位数: 留学前の取得単位[42]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[2]単位  
留学後の取得(予定)単位[40]単位

⑦入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[2013]年 [4]月入学 西暦[2018]年 [3]月卒業/修了

⑧本学入学から卒業/修了までの期間: [5]年[0]ヶ月間

⑨留学時期を決めた理由:

なるべく早い時期に行きたいと思っており、AIKOMを利用して2年生の2月から留学することも出来たが、留学決定から渡航までの準備期間が短すぎるのがネックだったので、次に早い全学交換留学を利用して3年生の7月から留学することに決めた。

### 留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

とても連絡が遅い。送られてくるメールも内容が分かりにくい場合がある。過去に留学した人に訊くのが早いと思う。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

留学ビザを申請した。在日チリ大使館はHPが存在せず、メールアドレスを探すのにも苦労した。電話でビザについて問い合わせても、対応が悪い上に分かりにくい。申請用に記入するように、と送ってもらった書類も日本語訳がお

かしく何を書くべきなのかよく分からない。大使館に行く前に電話でアポを取る必要がある。

ビザ発行には4~6週間かかると言われたが、アポを取って書類を提出したその日にビザを発行してもらえた。事前に当日発行と聞いていなかったのが、「今から近くの郵便局で振り込んで下さい。その後ビザを発行します。」と言われ、予想外に約8千円を払うことになったので非常に焦った。先輩の話では2週間で発行してもらえたらいい。

そもそもチリ・カトリック大学から留学受け入れの書類が届いたのが出発の6週間前を切っていた。その書類が届いたらすぐにビザ申請に行けるようにその他の書類の準備を早めに進めておくのが良いと思う。

「無犯罪証明書」が必要。発行に1週間程かかるが、この期間のことを考えていなかったためビザの申請が遅くなってしまい焦った。私は都民なので警視庁で手続きを行ったが、申請と受け取りとで2回行く必要があり、授業期間であったため警視庁まで行ける日にちが限られてしまったのも大変だった。

結局ビザを発行してもらえたのが出発2週間前で、もしかすると出発に間に合わないのではないかと気が気ではなかった。

### ③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

ビザの申請に健康診断書(英字)が必要だった。大学の春の健康診断を受けていたので、保健センターですぐ発行してもらえた。保健センターのハンコだけでなく医者サインが必要だと一度跳ね返されたので、事前に大使館に確認するのが良いと思う。

予防接種は特に受けていない。留学を通して必要も感じなかった。

薬は鎮痛剤・解熱剤、正露丸を持って行った。少しお腹を壊して正露丸を飲んだ以外は、幸い病気にかからなかった。食べ物や飲み水の相性があると思うので、胃腸薬は持って行くのが良いと思う。

### ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

留学前のオリエンテーションで紹介された保険に入った。

### ⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

特に行っていない。

### ⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

DELEは受けていなかった。一通り文法の復習をし、スペイン語検定を受けたりした。

### ⑦日本から持参の方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

日本語が読みたくなった時のための本。Kindleなどがあれば便利だろうと思った。

## 学習・研究について

### ①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

Hockey Césped

Historia Contemporánea

Chile y América Indígena

## ② 留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

学期中に小テストや課題などが何回か出される授業が多かった。基本的にどの授業も週2回+テスト前のチューターによるミニ授業という形式だった。詳しく内容が書かれたパワーポイントを配布してくれる授業は非常に助かった。一方で授業中は画像のみをスライドで写し、授業内容はほぼ口頭の授業では、単語の意味が分からずそのまま話が進んでしまっていて内容が理解できないまま次の話題に移ってしまうこともあった。テストは数個のテキスト+授業の内容が範囲のことが多かった。テキストの分量は、日本語なら全部読めるがスペイン語だと時間がかかりすぎてしまうことが多かったので、重要そうな箇所を詳しく読むことにしていた。

## ③ 1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

予習が必要 or 出来る授業を履修しなかったため、テスト前の勉強がメインだった。定期的に何かしらの課題が出されたので、授業期間中ヒマになりすぎるといってはなかった。

## ④ 学習・研究面でのアドバイス

初めの頃はテストのための勉強もテストの筆記も勝手が分からないことが多かったが、慣れてくれば効率よく勉強するやり方が分かってくると思う。テスト前に行われるチューターによる講義を聞けばテストで何が出題されるのか予想がつくことが多かったため、それまでにテスト範囲の大凡の内容を把握してからチューターの話をもとに対策すれば効率が良いと思う。

## ⑤ 語学面での苦勞・アドバイス等

決まってよく使われる単語があるので、それが分かるようになれば授業内容もつまずかずに理解できるようになった。初めのうちは慣れてないから仕方がないと割り切るくらいでいいと思う。

## 生活について

### ① 宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

チリ・カトリック大学から送られてきた寮やアパートなどの一覧から探した。大学の学生寮はない。

一人暮らしをしようと思ったので学生アパートを初め探したが、HPが存在しないものやメール送っても返信がないものばかりだった。結局HPがちゃんとしていて信頼できそうなカトリック系の学生寮を選んだ(私はカトリックではない)。

家賃は7万~7万5千円程度。従業員のようない人がいて、3食付き、毎日掃除あり、洗濯して綺麗に畳んで返してくれる、夜はアラームで警備も万全、という様々なサービス込みでこの家賃なら満足だった。

### ② 生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候…スモッグで空気が霞んでいる。到着した当初は頭痛がけっこう続いた。注意警報が出されることもある。夏はカラッとして陽射しが強く、冬は曇っていて雨が降る時期もある。東京と比べて暑さも寒さもたいしたことはない。

大学周辺の様子…サンホアキンキャンパスに通った。周辺にはいくつか大学もあるが、特に楽しいものは何もない。決して綺麗ではない。

交通機関…主に地下鉄。あまり好きじゃなかったためバス・タクシーはほとんど使わなかった。

食事…ほとんど寮の食事で済ませていた。最初は美味しなさに辟易したが、慣れればどうにでもなった。外食はお金もかかるし、あまり美味しくないしで、集まりがあるとき以外はしていない。

お金の管理方法…銀行口座の開設がすぐには出来ないことが分かり、知り合いを通して現金のUSドルを送っても

らった。寮のおかげで食事代や生活用品代も払う必要がなかったので、主要な出費は交通費だった。旅行するときに現金しかないのは多少不安ではあった。

### ③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

スリ、置き引き、強盗、デモ・ストライキなど日常茶飯事だった。とはいえ危険な所に近づかないなど気をつけていれば問題なく、デモ・ストライキは行われたことにも気付かない程度なので、街中が危険に満ちているというわけではない。

医療機関を利用することはなかった。

### ④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

#### ・毎月の生活費とその内訳

交通費:5,000~10,000 ペソ

交際費など:20,000 ペソ?

お買い物や印刷代:その時々による

それ以外は寮費で払っているので支出は少なかった。

寮費含め一ヶ月で9万円程度だと思う。奨学金を月6万円支給してもらったので、実質3万円程度だと思う。

#### ・留学に要した費用総額とその内訳

航空券はマイルを利用した。

寮費が7万5千円×10ヶ月(=75万円)、使った現金のUSドルが800ドル、他には旅行のためにお金を使った。

留学に要した費用総額は奨学金分を引いて50万円程度だと思う。

### ⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

The Fung Scholarship の奨学金。オリエンテーションやメールで紹介してもらった。中南米地域は月6万円支給だった。

### ⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

東大でやっていたホッケーを留学先でも続けた。1学期目は体育の授業を取り、2学期目はサークルに入った。ボランティア活動としては、カトリック系の寮だったのでその寮の活動に参加した。夏休みには南部の島に行き、現地の小中学校で授業をするなどの体験をした。

長期休暇が3ヶ月あったので、半分の期間を旅行して過ごした。ペルー・ボリビア・メキシコに旅行した。祝日と合体した長い週末が度々あったが、寮の住人の大半が帰省するなか、外国人の住人だけで公園に行ったり映画を見たりしてのんびり過ごした。

## 派遣先大学の環境について

### ①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

履修しなかったが、留学生向けのスペイン語の授業(有料・500USドル)がある。他にも留学生向けのチリに関する授業がある。

特別に留学生だからサポートしてくれるということはないが、先生やチューターによってはテストなどで語学面を考慮してくれた。テストのときは、先生に一言いっただけで辞書を使わせてもらえた。質問等も気軽に受け付けてくれるはずである。レポートの文法の添削は授業で知り合ったチリ人の友だちをお願いしていた。

## ②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

キャンパスは比較的新しいはずだが、設備にこれといって良いところはなかった。不便なものの方が多かった。

## 留学と就職活動について

### ①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

### ②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

チリで出会った人のなかには、高校卒業後1年間ボランティアをした後大学に入学した人や、大学卒業後しばらく何もせず職を探している人などがおり、それが日本で可能かどうかはともかく、私もせかせかせずに大きく構えて将来のことを考えようと思うようになった。

### ③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

6月末帰国だったので、夏のインターンのESを提出した。

### ④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- 1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) 3.公的機関(機関名: )  
4.非営利団体(団体名又は分野: ) 5.民間企業(企業名又は業界: )  
6.起業(分野: ) 7.その他( )

## 留学を振り返って

### ①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

大学の授業のレベルが高いわけではなかったのに授業を通して直接学問的に成長したとは思えないが、先生の説明の仕方・話し方、生徒の反応・コメントを聞く中で色々気が付くことがあり、それをきっかけとして東大で勉強してきたことが繋がっていき、結果としてこれまで曖昧だった自分の関心がはっきりした。また、東大の授業はレベルが高く面白かったんだなあと思わされた。もともと授業を真面目に聞くタイプではあったが、東大の素晴らしい先生方の授業を受ける態度としては全くもって不十分であったと反省した。

私はずっと実家暮らしなので1人で暮らしたことがなく、また性格的に寮の3人部屋でシャワー・トイレ共同なんてとても耐えられないだろうと思っていた。しかし蓋をあけてみれば家族や友人に会えないからといって帰国したくなるほど寂しい思いをすることもなく、3人部屋でも大きな問題もなくガサツ極まりないチリ人と共生できることが分かった。冷たいシャワーで髪を洗ったり、シャワーが壊れて何日かお風呂に入れなくても平気になったり、トイレに便座がなくても何も思わなくなった。意外と自分は図太かったのだと気づき、また、トラブルがあるかもしれないからと自分の判断で事前に手を打つことが出来るようになった。留学を通して一番成長したのはサバイバル能力かもしれない。

### ②留学後の予定

1年留年して卒業する予定。

### ③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

どのような留学生活を送りたいのか、留学の目的は何か、などをしっかり考えた上で留学先の大学を選ぶと良いと思う。1年分の東大での生活を離れることにはメリットもデメリットもあると思うが、留学がよい刺激になるのは間違いないと思う。

## その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form

Date: 12/8/2016

Faculty/Graduate School at UTokyo: College of Arts and Sciences, Dept. of Interdisciplinary Sciences

Year at the time of Study Abroad (e.g. 3<sup>rd</sup> year/ M1/ D2): 3<sup>rd</sup> year

Program Attended: USTEP

Host University: Pontificia Universidad Católica de Chile

Occupation after graduation (intended):

Civil Service/NPO/Private sector with relations to environmental problems

**Outline of the receiving institution overseas**

Pontificia Universidad Católica de Chile is one of the best university in Chile offering a wide range of faculties to study in. It is a private Catholic university and one of the oldest in the country.

**Reason why you decided to participate**

I wanted to discover South America and challenge myself to live so far away in a Spanish speaking country. Also, Chile has a variety of geographical environments and I wanted to know how the land is managed and used. In addition, Chile has a lot of trade with Japan and I wanted to know what the situation of what we rely on eg. salmon farming/ copper mines are like at the site.

**Period of Study etc.**

- (1) Academic status before the program: Completed the 1st semester of the 3<sup>rd</sup> Year of Undergraduate in 2016
- (2) Status during the program: Study Abroad
- (3) Duration: From 2016 Feb. to 2016 July . Departing in 3<sup>rd</sup> year of Undergraduate study in year 2016.
- (4) Registering for classes on return: Re-registered for classes from 1<sup>st</sup> semester of the 4<sup>th</sup> year of Undergraduate in year 2016.
- (5) Period of job hunting: Planning to start/completed in the month of March , 2017 of the 4<sup>th</sup> year of Undergraduate study in year 2017.
- (6) Number of credits earned before program 58. Number of credits earned during the program which will be processed for transfer 35 (in Chile). Number of (expected) credits after program 64.
- (7) Enrolled/Expected timing of graduation: Enrolled: (Sept, 2013). Graduation expected (Sept, 2017)
- (8) Time taken from enrollment to graduating/completion: 4years (expected)
- (9) Reason for choosing period to study abroad: In the 4<sup>th</sup> year I needed to start my graduation thesis and you cannot go to study abroad before 3<sup>rd</sup> year. I chose 1 semester because I wanted to graduate in 4 years/

**Preparation for the program**

(1) Application process (please give any advice on dealing with the application process) Start early. If you want to go study abroad from March like me, you need to start looking for external scholarships over a year in advance. Most scholarship application periods are made for people starting their study abroad in August.

(2) Visa application (type of visa, where to apply, processing time, any advice on visa application) The Chilean Embassy wrote it takes a month to process the visa but actually it only took 1 day. Make sure you call the embassy to get the newest forms and book an appointment for the interview.

(3) Medical check-ups (health check-ups before departure, inoculations, etc.)

I didn't need anything in particular.

**(4) Insurance (information about insurance for travel/studying abroad purchased)**

The insurance specified by U-Tokyo was very useful. I went to the doctors for free.

**(5) Procedures required by your Faculty/Graduate School (any information about course registration, credits, exams, submission of dissertations etc)**

**(6) Language preparation (language level (English, etc.), lessons etc.)**

You may be discouraged by the application requirement that you need to have B2 Spanish, but don't let that down! Your Spanish will improve when you get there.

**(7) Items which should be taken with you from Japan and any other advice on things which should be done before leaving Japan.**

If you want to vote (Japanese nationals), you need to take your address in Japan out from the ward registry before you leave Japan.

**Information on the academic/research program**

**(1) Copy of list of subject taken (if classes were taken)**

※ Please mark with ● all subject which you are processing to transfer credits to the University of Tokyo

● Manejo de Especies Animales AGL 018

● Geografía de Chile- Espacio y Sociedad GEO111

● Desarrollo Local Sustentable: Epistemologías y Prácticas IEU2019

Coro MUC701

**(2) Outline of the program (Style of the lessons/preparation study/review study, thing which left an impression on you, etc.)**

AGL 018 has a lot of hands on learning in groups. You learn about the animal farming situation in Chile and also learn how to take care of cows and chicken.

GEO111 with Prof. Arvarez was fully lecture based. You can learn about Chile from a range of views e.g geographical, economical, political. I recommend that you take this in the 2<sup>nd</sup> semester because in the 1<sup>st</sup> semester you the other students are from the Education Dept and lacks motivation.

In IEU2019, you can learn about local initiatives in Macul and Providencia to make sustainable living. It will make you more aware of where you live.

At MUC701, you can learn how to sing in a choir from basics. At the end of the course, you sing at a concert. Also you can learn about musical history from writing a aprox. 8 page report.

**(3) Number of subjects/credits per semester, number of hours of study/research time in a week (including class hours and study out-of-class hours)**

I took 45 credits in the semester abroad. Since my Spanish level was lacking, I had to use more than double the time I spent at Todai to finish reports and homework. I had less time than I thought I would for myself.

**(4) Advice on aspects of academic/research work**

For group work, you should not be afraid to speak out and lead your group to get the work done because the Chilean students often leave the work to the deadline.

**(5) Problems experienced with language issues, advice concerning language, etc.**

Homestay helped me to improve my Spanish. Find friends to help you check your reports or talk to the ayudantes.

**Aspects of life**

**(1) Accommodation (Type (home-stay, room-sharing etc.), cost, atmosphere/appearance of accommodation, how you found it, etc.)**

Home stay with Cecilia Blanch

**(2) Living environment (such as climate, environment around the institution, transport facilities, food, managing your money (overseas money transfer, credit cards))**

350000 pesos a month including food. I had an amazing family but sometimes your family may not be so good. I used a banking card which I can withdraw money from ATM.



**(3) Aspects of risk and safety management (safety of local region, condition of medical facilities, any action taken in maintaining your mental and physical health, etc.)**

I lived in Nunuoá which is a middle class area in Santiago. The west south side of Santiago is known to be dangerous. If there is a student demonstration especially for education, keep out!

**(4) Details of expenses (breakdown of costs, such as airfare, program fees, cost of required books, rent, food, travel cost, money spent on entertainment)**

• **Monthly living cost and its breakdown**

I used around 520,000 pesos a month including rent but excluding travel.

• **Total cost spent on studying abroad and its breakdown**

Feb to July in CLP

Food 204302

Transport 293490

Entertainment 652714

Living 426309

Others 1060000

Total 2746111

**(5) Financial aid (if you were receiving financial aid/scholarships, please give the name of the source of the aid, amount, and how you found it, etc.)**

Fung Scholarship 60000 yen per month via Todai

**(6) Activities other than academic/research work (sports, cultural, volunteer/internship, weekend activities, etc.)**

Calcuta- volunteer in jail, Arabian dance workshop at the university

**Environment of the receiving institution**

**(1) Support facilities for students taking part in the program (such as language, academic, living support mechanism and counseling services)**

Tandem at the university

**(2) Facilities (libraries, sports facilities, cafeteria, IT equipment and facilities, etc.)**

Very good facilities.

**Studying abroad and job hunting**

**(1) (those that have job hunted) Impact that the your study abroad had on job hunting, merit and demerit**

**(2) (those who will be starting job hunting) How the study abroad has impacted your thoughts towards employment**

I want a job where I can work overseas.

**(3) Actions towards job hunting while studying abroad (if any)**

**(4) If you have succeeded in finding a job, please inform us, if agreeable, as much as possible about your job**

1. Research      2. Specialist (Medical · Judiciary · Accountant) (position: ) 3. Civil Service (name of institution: )

4. NPO (name of organization and field: ) 5. Private sector (name of company and industry: )

6. Entrepreneurship (field: ) 7. Others ( )

**Looking back over the program**

**(1) The significance of the program and how you have developed by taking part in it, any other impression from having studied abroad**

**(2) Your plans having studied abroad**

This is my final year in university. I want to work hard on my graduation thesis, getting all credits, and finding jobs.

**(3) Any messages or advice for future participants**

My blog about Chile (in Japanese) <http://chiledechiri.seesaa.net>

You may be afraid to go so far away from home and in a totally Spanish environment but the Chilean people are so kind and Chile is a pretty developed country. You should definitely go!

**Miscellaneous**

**(1) Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas**  
blogs by past students

**(2) Please submit any photographs which may be used on the University of Tokyo websites or publications.**

I will send you my powerpoint for post departure presentation when I do that at the College of Arts and Sciences.

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2017年 1月 22日

東京大学での所属学部・研究科等:	経済学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	チリ・カトリック大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界: )		6. 起業
	7. その他( )		

派遣先大学の概要

南米でトップレベルの私立総合大学。南半球に位置するため、2月から新学年が始まる。

留学した動機

単なる旅行ではなく現地の大学、さらにはチリ・カトリック大学という中南米で1, 2位を争うトップレベルの大学に留学することでその国の未来を背負う若者がどのような考え方をしているか見ることができ、就活を始める前にもう一度自分のキャリア観を考えなおそうと思ったから。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2015年	学部3	年生の	A2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2016年	2月~	2016年	12月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2017年	学部5	年生の	S1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017年	学部5	年生の	6月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			82	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			8	単位
	留学後の取得(予定)単位			90	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013年	4月入学	2018年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

元々2月に新学年が始まるシステムなので、オリエンテーション等を考えると2月から留学を開始の方がやりやすそうだったから。ただ実際には8月から留学を始める欧米の留学生も多く、あまり関係なかった。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

仕事は基本的に遅い。手続きも雑。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

チリ大使館の対応は不親切極まりない。  
特にVISA申請者との窓口となる唯一の日本人職員は対応が非常に悪いことが駐在員の間でも有名。  
どこにも記載がないがアポを取らずに大使館へ行くと怒られるので注意。  
2年前までは許可が下りるのに1か月近くかかっていたらしいが、領事が代わったおかげか昨年からは即日降りるようになった。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

ビザの申請に健康診断書(英字)が必要だった。これは東大の学生用クリニックで入手した。  
過去に黄熱病やA型肝炎のワクチンを打っていたため、特に改めて追加では打たなかった。  
風邪薬、下痢止め、ウナクールは必須。(チリ自体の衛生環境は悪くないが、周辺国に行くのならば用意はした方がいい)

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学で一括で入る東京海上日動火災保険のものに加入

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

特になし

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

DELE B1は取得していた。また高校時から学習を始めたので4年間のスペイン語学習歴があった。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

ウナクールなどの医薬品と雑貨

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Design thinking para los negocios	10	●			
Macroeconomia I	10				
Seminario de cultura chilena	10	●			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

前期: Design thinkingの授業ではイノベーションがどのようにして成し遂げられるのか、ケーススタディや文献で学んだ。まず具体的なステップを教授が講義で説明を行い、その方法論に基づいて学生でグループを作り自分たちで課題を設定し、実践した。自分たちのグループは携帯依存をいかに減らすかという事をテーマに設定し、ターゲット層の設定、現状把握のためのアンケート調査を行いながら解決策を提示した。そして学期の最後にプレゼンテーションを行った。またプレゼンテーションとは別に3回ほど多国籍企業におけるイノベーション例のケーススタディに関するテストを実施した。

後期: このSeminario de cultura chilenaの授業は、チリを経済・社会・歴史・政治の4つのパートに分けチリがこれまで辿ってきた足跡を学習した。主に講義が中心であり、それぞれのパートに異なる専門の教授が担当した。評価は各パートの最後の授業の際に、テストを毎回行った。日常生活を送っていると当たり前になってしまう習慣や国民性・歴史の背後が徐々に分かっていくように大変有意義な授業であったと思う。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

日本で出発前にほとんど単位を取り切っていたため、単位に拘らず、興味の赴くままに授業を聴講していた。

#### ④学習・研究面でのアドバイス

テスト一発で評価する科目が多いので、多少授業についていけなくてもテスト前にしっかり勉強すれば問題ないと思われる。

#### ⑤語学面での苦労・アドバイス等

チリのスペイン語に慣れるのは大変だが、授業に出てくる単語は繰り返し使われるので意外と困らない。

#### 生活について

##### ①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

大学の学生寮はないので、自分で探す必要がある。  
友人の実家の敷地内にある誰も使っていない建物に暮らしていたため、キッチンやトイレも独立しており実質的に一人暮らしだった。(家賃は光熱費込みで月2万5000円程)  
サンティアゴの家賃は東京と同水準なので、周りの留学生は皆月6~7万円前後払っていた。

難点:幸い強盗に遭ったのは一回だけだったが、サンティアゴでも三本の指に入る治安の悪い地区にあった。また野良犬が1ブロックに5匹ほどいるため、通り中が犬の糞で溢れ、ハエやネズミと合わせ、衛生環境は最悪だった。  
実際に野良犬にも噛まれたので、高級住宅街以外に住む人は注意した方がいい。

##### ②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候:スモッグが多く、警報が出される日も多い。

大学周辺:大学そのものは非常に新しく、設備も東大より綺麗。しかし駅を挟んだ反対側は警察さえ、装甲車がなければ立ち入らないla leguaという歴史あるスラムなので注意(チリを代表するサッカー選手であるビダル選手の故郷なので、彼の風貌を検索してみればイメージはつくはずだ)。

交通機関:他の南米諸国の公共交通に比べれば、しっかり機能しており、安全。

食事:味と値段が釣り合っていない。10%のチップの習慣もあるので、外食すれば1000円は下らず、日本よりも高くつく。

不味いとは言わないが、ペルー、アルゼンチン等の周辺国と比べれば、大きく味は劣る。

お金:ATMで引き出し。ただ引き出すたびに、600円程手数料がかかるうえに、一回の引き出し上限が3万円ほどで不便。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

チリはウルグアイと並んで中南米で最も治安の良い国の一つと言われていたが、ここ数年の銅価格下落による経済不況から急速に悪化しつつある。

以下、中南米留学では留学と治安の悪さが切り離せないので詳細に述べていく

- ・貧困地区:特に注意すべき4区は南部のLa Pintana, Puente alto, 北部のPudahuel, Renca。アジア人はほとんどいないので非常に目立つ。東南アジアのスラム気分で歩くと本当に命に関わるため絶対に行かないように。
- ・軽犯罪:メロ・バスのスリは多発。リュックは必ず前に背負うべき。数年前からバスの支払いが現金ではなく、カード払いになったためバス強盗はほぼ絶滅した。
- また旅行者に一番多い被害が、長距離バスでの寝ている間の置き引き、バスターミナルでのケチャップ強盗。大使館に届け出のあるものだけで月5.6件は毎月あるので、見知らぬ人に話しかけられたら注意。
- ・薬物:ピノチェト時代にコカイン業者は国外追放となったので、今はほぼ問題ない。Independencia区等、コロンビア人が多く住む地域では麻薬絡みの殺人も起きているので注意が必要。マリワナはチリでは所持する分には合法なので、自宅で栽培している人も多い。
- ・銃:銃が使用される犯罪は主に3つに分類される。店舗型強盗、車強盗、警察とのカーチェイス以外に使用されるケースはほぼない。路上強盗は刃物が圧倒的に多い。Pajaritos駅北部のスラムに銃の密売マーケットがあるので近づかないように。
- ・高級住宅地:ここ数カ月急速に治安が悪化している。駐在員が自宅前で襲われた例や、駐在員がオフィスから出でタクシー待ちをしている間に、刺されたり、鉄パイプで殴打されたりする等の事例が起きている。また組織的な犯罪が多く、複数人による犯行が多い事が特徴

- ・タクシー:ペルーやメキシコと違い、タクシー運転手による誘拐はほぼないので流しのタクシーに乗っても問題ない。(深夜はUberやEasy Taxi等の配車サービスを利用した方が無難)
- ・観光地:旧市街は日中に関しては観光客も多く安全。しかし夜はコロンビア移民が多いためむろしているため出歩き厳禁。特に森林公園とbellas artes駅の辺りを夜歩くものなら必ずトラブルに巻き込まれる。
- ・クラブ:携帯電話を盗まれないように注意。留学生で被害例多数
- ・警察:チリの警察は賄賂も受け取らず、南米諸国の中ではトップレベル
- ・テロ:いくつかの記念日にのみ、爆弾テロのリスクがある。
- ・ラテン系男性:筑波の女子学生の例があるので強調したい。チリ人男性に限らず、ラテン系の男性は非常に尽くす。食事は全部驕りだし、どんなに夜遅くても車で送迎してくれる。しかしそれは独占欲の裏返しで非常に嫉妬深い人が多いので決断をする前に良く考えた方がいい。またキレやすい人も一部存在しており、日本と違って銃なども手に入るの注意が必要。ヨーロッパ系の白人が多いが、外見は同じでも文化面は異なるので警戒を怠らざに。
- ・デモ:頻繁にデモや暴動が起きるが、近寄らない事。催涙弾は思ったよりも痛い。
- ・強盗:複数で行われるので抵抗しない事。この大陸ではスマホは人の命よりも価値がある。公共交通機関で携帯を出していると、目を付けられ、尾けられることがある。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

食費: 3万円 交通費:3000円 その他( 2万円ほど )

合計 約 5 万円 (家賃入れず)

(参考)渡航費:20万円

・留学に要した費用総額とその内訳

100万前後

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

トビタテ。自分で申し込んだ。月12万円

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

トビタテの課外活動でペルーのクスコの孤児院でボランティアをした。  
残りの休暇は旅行をした。

### 派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

留学生向けのスペイン語の授業(有料・500USドル)がある。  
国際部局の担当の職員はとても親切だった。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

キャンパスは新しく、図書館にはPS3などのゲーム機も揃っていた。  
グラウンドも芝のグラウンドが4面ほどある。

### 留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

夏のインターンに参加できなかった。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

また南米に戻ってきたいと強く思うようになった。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

対策ではないが、駐在員のサッカーチームと野球チームに入っていたため、いろいろと有意義な話が聞けることも多かった。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- |  |                          |
|--|--------------------------|
|  | 1. 研究職                   |
|  | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) |
|  | 3. 公的機関(機関名: )           |
|  | 4. 非営利団体(団体名又は分野: )      |
|  | 5. 民間企業(企業名又は業界: )       |
|  | 6. 起業(分野: )              |
|  | 7. その他( )                |

## 留学を振り返って

### ①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

語学面や学問面でも収穫はあったが、一番成長したのはメンタル面だ。スラムに住んだことで貧富の格差を目の当たりにし、環境が自身の人間性・考え方にどう影響を与えるのかを体感した。同時に数々の修羅場をくり抜けたことで、極限状態で最も大事な第六感や直感がかなり磨かれたと思う。また時間にルーズな人が多いため、忍耐力もかなり鍛えられた。

### ②留学後の予定

1年留年して就活し、卒業する予定。

### ③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

アメリカや欧州などのメジャーな選択肢もいいが、マイナー国も経験が色々と差別化しやすくメリットも多い。中南米は治安面など欠点も多いが、温かい人も多く、魅力溢れる大陸だと思う。チリに限らず、メキシコ、ブラジルへ行く方も治安には気をつけて楽しんでください。

## その他

### ①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。